



熊野古道博士 吉田さんの説明にカンゲキ

自然とのふれあいを求めて山に登る女性たち、“山ガール”が最近、熊野古道でよく見られるという情報を得たスタッフは、急ぎ馬越峠へ…



石畳を踏みしめて

馬越峠登り口に到着すると、楽しそうにおしゃべりしながら歩く3人をすぐに発見!!

名古屋から来た吉野利那さん、稲葉友希さん、後藤由香里さんの会社の同僚3人組は、なかに南アルプスに登った人もいる正真正銘の山ガール。山歩きファッションは、オシャレにキメるけれど、歩き慣れた靴と背負いやすいリュックで、両手が自由になるのが必須だそうです。

本日は、大ベテランの語り部・古道博士の吉田金好さんと一緒に古道歩きです。吉田さんがする草花の説明に、3人とも目を輝かせて興味津々の様子。強い殺菌作用を持ち、お寿司などの下に敷くハナミョウガの強烈な臭いを嗅いで、鼻を押さえながらも大感動!!

—みなさん実際に熊野古道を歩いてみていかがでしたか?

—(稲葉) 石畳はゴツゴツしていて、自然の造形を感じる「登りがいい」道でした。

(後藤) いつもはビルの中で仕事をしているので、こういうところで心も体も浄化することが大事だなと思いました。

(吉野) 木陰が本当に涼しいんだという、当たり前だけど忘れてしまっていることが体感できました。滑らないよ

う気をつけて歩くのがまた楽しかった。

みなさん感受性が豊かで、道を歩くだけではなく、植物や小川のせせらぎ、石畳の質感まで、自然とつながることを五感で楽しんでいる様子がとても印象的でした。

感想は三者三様の表現でしたが、語り部さんへの感謝の気持ちと、最後の質問には意見がピッタリ一致!!

—次に東紀州に来るとしたらどんなところに行きたいですか? —今回思ったよりも大変だったけど、鍛えて次はもっとキツイ峠にチャレンジしたいです。

「次はもっと厳しい峠を」疲れていても和らいだステキな表情でそう言ってもらえるのも、熊野古道と山の自然のおかげでしょうか。

若い女性にも熊野古道歩きが浸透するなど、表面的な入込み人数だけでは測れない、裾野の広がりを改めて感じました。熊野古道を体感した人たちが、その魅力を周囲や次世代へ、“道”のように永く伝え、つながってほしいと思います。





主催/三重県立熊野古道センター 共催/東紀州観光まちづくり公社

熊野古道や周辺の自然、風景、祭りなど、地域の魅力が詰まった写真を撮影し、ふるってご応募ください。
自家プリンタ印刷による作品も可です。
今年度は旅行先や日常生活でなにげなく撮った作品も応募いただけるよう、「お気軽部門」を新設しました。

応募
テーマ

【とっておき部門】「東紀州の四季」
風景・祭り・風物詩などを通じて、東紀州の魅力を表現した写真

【お気軽部門】「わたしが撮った東紀州」
東紀州内にて、風景や人の暮らしなどを撮影した写真
*応募は全て、東紀州地域内(三重県紀北町・尾鷲市・熊野市・御浜町・紀宝町)の被写体を撮影した未発表の作品に限ります。
*詳細な応募規定、応募票の入手は、熊野古道センターへお問合せいただくか、センターHPを御覧ください。

審査
委員

【とっておき部門】竹内 敏信氏
(社団法人日本写真家協会会員、熊野古道写真学校長)

【お気軽部門】主催者が委託した審査委員

賞

- 【とっておき部門】 ●最優秀賞(1点).....賞金5万円
●優秀賞(2点).....賞金2万円
●入選(多数).....賞品:記念品
- 【お気軽部門】 ●最優秀賞(1点).....賞品:特産品詰合せ
●優秀賞(多数).....賞品:記念品



平成20年度最優秀賞
藤井徹郎氏「神宿す樹」
(紀北町長島神社)



平成21年度最優秀賞
杉本光朗氏「獅子も見とれる」
(熊野市)

締切

平成22年12月13日(月)
*当日必着

応募先
問合せ先

三重県立熊野古道センター フォトコンテスト係
〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4
TEL:0597-25-2666 FAX:0597-25-2667



一万人の参詣道『環境保全』活動 熊野古道 大門坂 環境保全ウォーク 和歌山県世界遺産センターからのお知らせ

紀伊山地には、自然崇拜を起源とする神道の霊場「熊野三山」、中国から伝来した真言密教の霊場「高野山」、山岳信仰の聖地であり修験道の霊場である「吉野・大峯」という三つの霊場とそこに至る「参詣道」があります。これら霊場と参詣道は、信仰の対象となるべき諸神、諸仏が千年の歴史を越え、今も人々の心の拠りどころとなっており、また、日本人の精神的な“ふるさと”とも呼べる場所です。

現在、世界遺産は911箇所ありますが、信仰の道として登録されているものは、他にスペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラへの巡礼路だけで、世界に2例しかない貴重な資産です。道の大部分は幅1メートル前後と狭く、石畳や階段となっている部分もありますが、多くは山中の土の道です。世界遺産の文化を育んだ紀伊山地は、年間を通して雨量が多く、台風などの災害にもたびたび見舞われ、道の傷みも確認されています。

「紀伊山地の霊場と参詣道」は、登録資産の総面積が約500ヘクタールと広範囲にわたり、特に参詣道の総延長は300キロメートル超に及びます。こうした条件の中で登録資産を大切に保全し次代に引き継いでいくためには、多くの人々の理解と協力により、継続性のある保全活動を展開していくことが重要です。

その本質的価値を再認識し、次世代に良好な状態で資産を承継するため、和歌山県では昨年に引き続き「一万人の参詣道『環境保全』活動」を実施しています。

今回、熊野古道中辺路にある大門坂周辺にて「熊野古道 大門坂 環境保全ウォーク」を開催します。語り部との熊野古道ウォークを楽しみながら、清掃活動を通して、環境保全活動を行います。行程は、補陀洛山寺から那智高原までの約7kmです。



開催日:10月17日(日)
定員:150名

コース:熊野古道中辺路 補陀洛山寺から那智高原
内容:20~25名程度のグループで語り部とウォーク。ウォークの途中清掃活動をしていただきます。

詳しくは、<http://www.sekaiisan-wakayama.jp/> をご覧ください。

企画展への情報提供のお願い

当センターでは今年度末、熊野古道の旅人を“迎えた人々”をテーマに、企画展「熊野古道のおもてなし(仮)」の開催を予定し、現在調査を進めております。つきましては、熊野古道周辺で営まれていた宿屋や茶屋などに関わる資料についてご存じのことがありましたら、熊野古道センター(TEL:0597-25-2666、担当:アガタ)まで情報をお寄せください。



熊野市木本で営業していた酒基

酒基で使用していた朱塗膳



Event Info.

企画展 「海のいきもの × 熊野灘」

熊野灘に住む生きものたちの生態を通じて、生命力あふれる熊野灘の魅力を感じることのできる展示です。数億年前の魚の化石やウミガメの産卵ジオラマ、大きなクジラの骨、きれいな貝など、生きものたちの“ふしぎ”を見て、感じてください。

展示資料:三葉虫・カブトガニ・シーラカンス等の化石、アカウミガメの標本、クジラの頭骨・クジラひげ、貝類標本 他

期間:平成22年9月26日(日) 午前9時～午後5時 会期中無休

入場料:無料

場所:展示棟企画展示室



企画展 「筏師の道」 共催/和歌山県北山村 協力/奈良県十津川村、奈良県下北山村、紀南ツアーデザインセンター

熊野川やそれに合流する北山川や十津川を含め、この地域では山奥で伐り出された材木を河口の木材市場へ運送するために、筏に組み河川で流し下ろす“筏師”と呼ばれる人々がいました。筏が下った川の道、帰途に家路を急いだ山の道。筏師の行き交った“道”を中心に、道具類や古写真などを通じて、暮らしや信仰についても紹介します。

期間:平成22年10月3日(日)～12月19日(日) 午前9時～午後5時 会期中無休

入場料:無料

場所:展示棟企画展示室



北山川の筏師は海外でも大活躍(写真は天正7年、朝鮮半島にて)



北山川の観光筏、激流を下る!(現在)

付属イベント1 プレオープンイベント 「北山村の筏組み実演」

北山川観光筏で活動する筏師さんが、展示会場である熊野古道センターにて筏組みを実演します。

日時:10月2日(土) 午後2時～3時 場所:展示棟ホールまたは芝生広場
参加料:無料(申込不要) 実演:北山川観光筏の筏師のみなさん

付属イベント2 講演会 「THE 筏師 ～元筏師が語る山と川のくらし～」

実際に北山川を流し下った元筏師さんの体験を語っていただきます。

日時:10月10日(日) 定員:60名程度(申込不要)
午後2時～3時 場所:映像ホール
参加料:無料 講師:東涉氏(元筏師・元北山村村議会議長)

付属イベント3 新しい古道の歩き方 「筏師の帰って行った道」三部作

材木を流し終えた後、筏師たちが家路を急いだ山道をたどり、その苦労と生活ぶりに思いをはせましょう。

- 参加料:各3,000円(昼食代、保険料等含む)
①・③は温泉入浴券付き
定員:各35名(要申込)
- ① 田戸～小松(奈良県十津川村～和歌山県北山村) 日時:10月11日(月・祝) 午前8時30分～午後1時
 - ② 片川～矢ノ川(三重県御浜町～熊野市紀和町) 日時:11月23日(火・祝) 同上
 - ③ 不動峠(和歌山県北山村～奈良県下北山村) 日時:12月4日(土) 同上
- ※いずれのコースも、山歩きに慣れた方対象となります。

体験学習

9/25(土) 熊野古道センター自然学校「神木の巨木と滝めぐり」

御浜町神木地区の奥にある秘境・不動滝、横垣峠の登り口近くにあるイヌマキの巨木(樹齢推定600年)や、原地神社の大スギを訪れ、緑と滝のマイナスイオンを浴びながら、秋の植物観察会を行います。

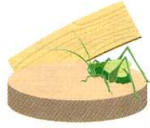
◇時間:午前10時～午後3時
◇参加料:300円(保険料含む)
◇定員:15名(要申込)
◇場所:南牟婁郡御浜町神木
◇講師:花尻薫氏(当センター長)、清水鎮一氏(当センター監事)



月別ひのきアート教室

地元の特産品・尾鷲ヒノキの間伐材やヒノキシートなどを使って楽しむ、ものづくり教室です。

◇日時:9月26日(日)「ひのきアクセサリ」
10月17日(日)「秋のお飾り」
11月28日(日)「クリスマス飾り」すべて午後1時～4時
◇参加料:各1,000円
◇定員:各10名(要申込)
◇場所:体験学習室 ◇講師:NPO法人海虹路会員



毎週日曜日 あなたも木工作家! その場でできる木工教室

すべて事前申込不要!! 来館してその場で気軽に体験できる木工教室です。メニューは、お箸・しおりなどのひのきアート、木の動物・木のおもちゃづくりなど週替わりで開催します。

◇日時:毎週日曜日 午後1時～3時(受付時間)
◇参加料:200円～1,500円(申込不要)
◇場所:交流ロビー
◇講師(週替わり):NPO法人海虹路、川端一氏、大形弥生氏、畑中昇氏



10/11(月・祝) 東紀州の四季を味わう料理教室 ～秋の行楽弁当～

東紀州の旬の特産品を使った大人気の料理教室です。秋の行楽シーズンにピッタリのお弁当を作り、一緒に食べましょう。

◇時間:午前10時～午後1時
◇参加料:2,000円(2個分)
◇定員:ベア24組(要申込)※各ベア調理1名、試食・箸袋作り1名
◇場所:体験学習室
◇講師:村林新吾氏(相可高校食物調理科教諭)



10/30(土) 熊野古道センター自然学校「大又川上流の紅葉巡り」

熊野市飛鳥町にある大又川上流で、美しく紅葉した山々を巡りながら植物観察会を行います。赤や黄色に色づいた景色を堪能してください。

◇日時:10月30日(土) 午前9時～12時 ◇場所:熊野市飛鳥町大又川流域
◇参加料:300円(保険料含む) ◇講師:花尻薫氏(当センター長)
◇定員:20名(要申込)

講座・講演

11月 知ろう!守ろう!須賀利の大池 ※日程は決定次第、HP・新聞等にて発表します。

湾口がふさがって海が湖になった“海跡湖”、尾鷲市須賀利の大池へ船で行き、ハマナツメなどの植物を観察するとともに、最近の自然環境の変化について学びます。

◇時間:午前10時～午後3時
◇参加料:2,500円(船代・保険料・昼食代を含む)
◇定員:20名(要申込)
◇場所:尾鷲市須賀利 大池周辺
◇講師:山本和彦氏(尾鷲高校教諭)



新しい古道の歩き方

10/23(土) 旅するチョウ・アサギマダラを見つけよう(仮)

旅するチョウとして有名なアサギマダラを観察、マーキングするとともに、棚田の美しい阪本集落の散策や地元材を使っての木工教室など、生き物、自然を満喫するよくばりツアーです。

主催/熊野少年自然の家・東紀州観光まちづくり公社・三重県立熊野古道センター
◇時間:午前9時30分～午後3時
◇参加料:300円(保険料を含む) ※ご当地食材のパーベキュー有り
◇定員:30名(小学校3年生～大人、要申込) *小学生は保護者同伴
◇場所:御浜町阪本地区と熊野古道横垣峠周辺
◇講師:山口和洋氏(当センター理事)、小林良美氏(御浜写真愛好会)
◇申込先:熊野少年自然の家へ電話・FAX・メールのいずれかにてお申し込みください。
TEL:0597-89-3340 FAX:0597-89-3387
mail:uketsuke@kuma-sho.com



熊野古道からの のがみ

熊野古道からの
のがみ

16 通目

河口部まで透明度抜群の銚子川には、春から夏にかけて町内外から多くの人が訪れ、その魅力を体感します。釣りや有名になった天然岩の滑り台、ターザンロープ、カヌーに素潜り、河口のゆらゆら帯観察などワクワクする遊びはもちろん、川を見たり手足を水につけたりして、静かに癒しのパワーを感じる楽しみ方もあります。写真を撮ったり絵を描いたり、せせらぎの音をBGMに本を読んだり、お昼寝するのもいいですね。

私たちは、この銚子川沿いにある紀北町の町営施設『キャンピング三海山』の管理運営をするとともに、銚子川流域の地域資源を発掘・保全・活用した集客交流をすすめています。素晴らしい透明度の高い清流・銚子川も、災害や上流部の開発・荒廃、また人々の心がけひとつで、憂いの川に豹変します。今の銚子川の素晴らしさに胡坐をかいて利用するだけでなく、これからの銚子川に目を向けてたくさんの人と行動していきたいと考えています。

10月2日(土)には『日本にはまだこんなに美しい川がある！魅力・ときめき・伝えたい！銚子川シンポジウム』が紀北町主催で行なわれます。シンポジウムに先立って、基調講演をお願いしている水中写真家、内山りゆう氏の銚子川写真も紹介されているエコ育絵本『かわはいてきている』の読み聞かせを、地元の幼稚園で行ないました。



エコ育絵本の読み聞かせ

また川遊びイベントのなかで地元小学生と水生生物調査も実施しました。地域の子どもたちが身近な自然に興味を持つきっかけになってほしいと願っています。そして、銚子川シンポジウムでは銚子川の素晴らしさを再認識し、さらに銚子川の活用や保全について考える機会にしたいと考えています。



福山 ふみ代さん
(紀北町)
NPO法人ふるさと企画舎

筆リレー
次は紀北町の
道畑 祐介さん

花尻 薫からの季節のたより No.16 「種の多様性と熊野古道」

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」が登録された2004年7月以前の2001年9月10日、「信仰の山の文化的景観」をテーマに「アジア・太平洋地域における信仰の山の文化的景観」に関する世界遺産専門会議が、日本において開催されました。そのなかで種の多様性は、「山岳地域は文化の多様性をあらわしており、しばしば重要な生物多様性の核心ともなっている」と中心議題に取りあげられました。

熊野古道とその周辺には多様な動植物が生きており、自然の豊かさと、人と動植物の関係は、



6月頃に開花するササユリ

訪れる人々に実感を持って受け入れられています。例えばササユリの花の姿と香りは、熊野古道を歩く人々の疲れた体と心をやわらげてくれます。秋には渡りのチョウとしてよく知られるアサギマダラが、渡りのルートである熊野古道沿いを、フジバカマやヒヨドリバナの蜜を吸いながら集団で南下する姿は、とても優雅です。

今絶滅の危機にさらされている野生植物として、種子植物とシダ植物の24%、蘚苔類の12.7%が、日本の国土から姿を消そうとしています。

豊かな熊野古道の生きものを守るためにも、文化的景観と同様「種の多様性」にも気を配り、動植物の保護に努めなければなりません。2000年から始まった「生物多様性」の運動は、地球上の重要な課題です。

センター敷地内『夢古道おわせ』へぜひお立ち寄りください!

お母ちゃんのランチバイキング
尾鷲・東紀州の食材をふんだんに使った、地元のお母さんの味です。

営業時間: 11:00~14:00
料 金: 中学生以上 ...1,200円
子供 ...700円
乳幼児 ...無料
60歳以上 ...1,000円

みえ尾鷲海洋深層水「夢古道の湯」
深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。ミネラル分が豊富で保温性に優れているので、湯上がり後もボカボカです。

開館時間: 10:00~21:00
入浴料: 一般 ...600円
65歳以上 ...500円
4歳~小学生 ...300円
4歳未満 ...無料

お風呂あがりには、カフェでまったり!

営業時間: 9:00~21:00
(ラストオーダー20:30)

●お車でお越しの方は...
国道42号線で尾鷲市内→矢の浜南交差点を海側へ曲がると突き当たりを右折→県道を海沿いにしばらく走り、案内看板を右折して到着です。(国道から約10分)

●電車でお越しの方は...
■JR尾鷲駅下車→ふれあいバス「尾鷲駅」バス停(徒歩1分)、または三重交通「尾鷲駅」バス停(徒歩5分)乗車→「熊野古道センター前」下車
■松坂駅
→南紀特急バス「熊野古道センター」終点下車(約2時間)

**☆熊野古道センターニュースレター☆
“熊野古道センターからののがみ
2010年秋号”**

- 発行日:2010年9月15日(季刊)
- 編集・発行:三重県立熊野古道センター
(三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク)
- 編集担当:縣
- 連絡先:
〒519-3625 三重県尾鷲市向井字村島12-4
TEL 0597-25-2666
FAX 0597-25-2667
Mail info@kumanokodocenter.com
HP http://www.kumanokodocenter.com/
- 開館時間:午前9時~午後5時
- 入場料:無料
- 休館日:12月31日、1月1日
(その他メンテナンス時休館)

8000100915TA